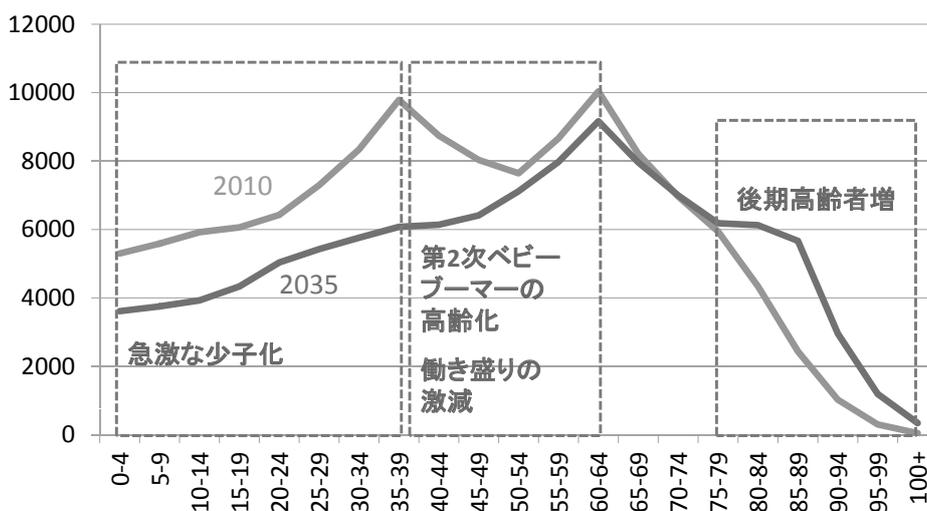


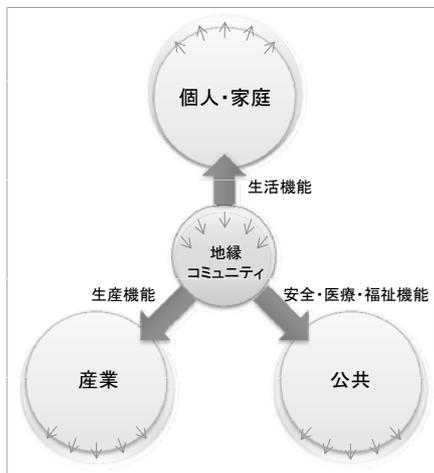
「2030年代をみすえた 機能統合型コミュニティ形成技術」

2030年代の日本人口(単位:千人)

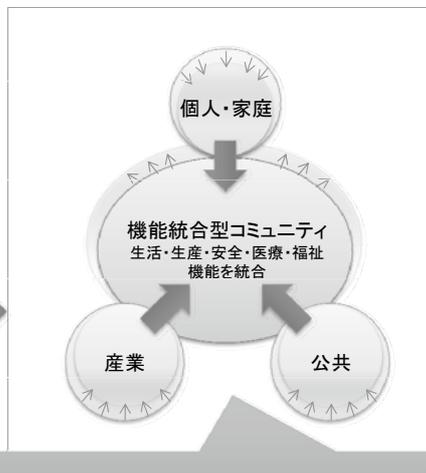


目指すべき社会像 生活に密着した1万人コミュニティへの機能統合

1970年代のコミュニティからの機能分化モデル



2030年代のコミュニティへの統合モデル



- 各セクターの機能維持が困難に
- 生活圏が縮小

人口減少
超高齢化

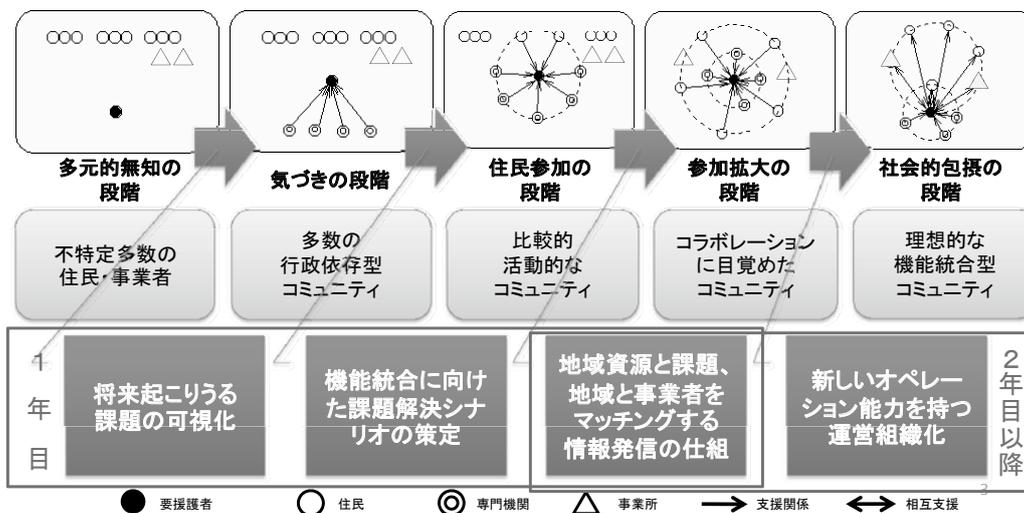
- 地域資源のネットワーク・シェア
- 多世代間・地域内外の双方向性

1970年九州大学大学院文学研究科修士課程修了。1996年久留米大学博士（文学）号取得。宮崎大学、山口大学、九州大学大学院人間環境学研究院、山口県立大学大学院を経て熊本学園大学社会福祉学部教授。特定非営利活動法人アジア・エイジング・ビジネスセンター理事長。福岡市アジア都市研究所副主幹研究員。九州経済調査協会研究委員。アジア太平洋アクティブ・エイジングコンソーシアム創始者。



エンパワメント型のコミュニティ形成

- ・ コミュニティの段階に応じて、次の段階移行に必要なエンパワメントを提供するための方法論の確立

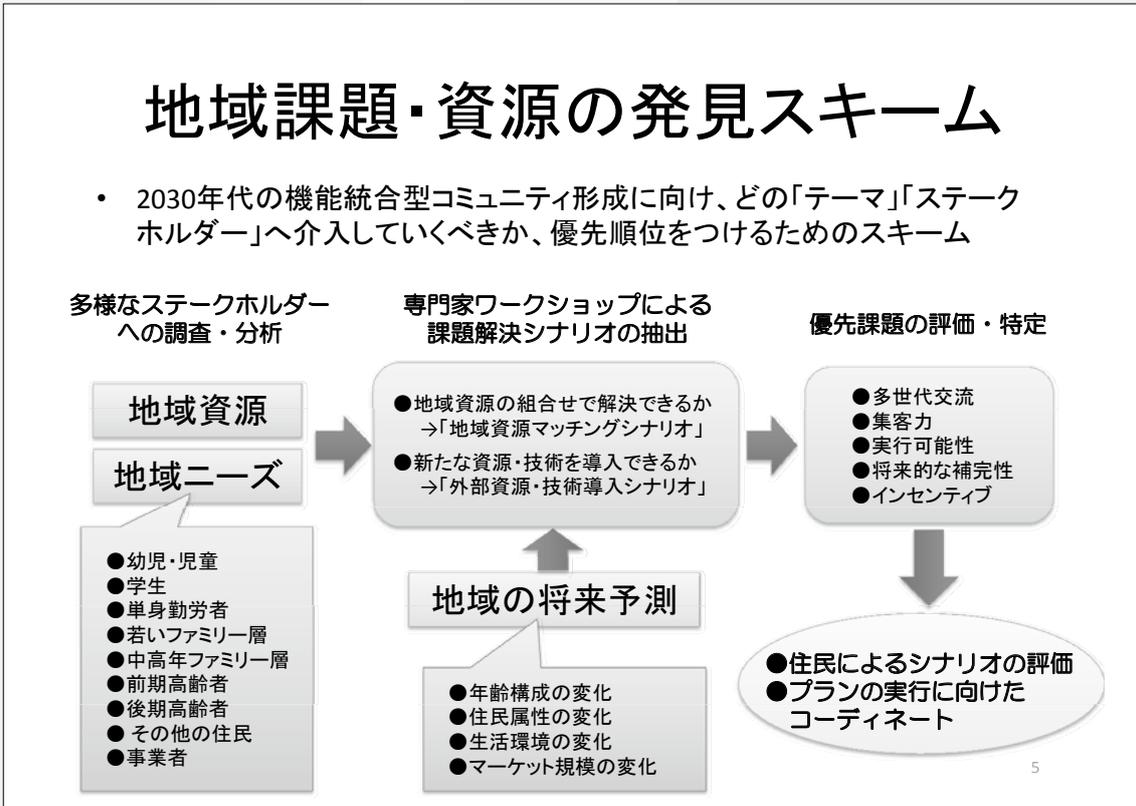


我々が開発する社会技術

- ① 超高齢社会に向けて対応すべき課題、地域資源の発見スキーム
 - ② 地域住民等の意識変容を促すエイジング・イマジネーションゲームの開発
 - ③ エイジング企業フォーラム（仮称）の設立
 - ④ 地域資源とニーズをマッチングする双方向型の情報発信の仕組み
 - ⑤ クラブ型コミュニティの形成
- 本年度
- 次年度以降

地域課題・資源の発見スキーム

- 2030年代の機能統合型コミュニティ形成に向け、どの「テーマ」「ステークホルダー」へ介入していくべきか、優先順位をつけるためのスキーム



エイジング企業フォーラム(仮称)と地域住民とのマッチング・イメージ

- 地域と企業とのサービスを通じた双方向対話を促進



研究フィールド(初年度2地域～)

1. 美和台小学校区(福岡市東区)

- ・ 人口:15,839人 高齢化率:22.3%
- ・ 東区の端に位置する40年前開発の戸建団地
- ・ 標高差が大きく坂が多い地形
- ・ 活発な自治会活動、多様なモデル事業
- ・ 高齢者が中心で世代間意識差も



2. 金山小学校区(福岡市城南区)

- ・ 人口:8,130人 高齢化率:25.9%
- ・ 城南区中央に位置、戦後開発の住宅団地
- ・ 賃貸・分譲マンションと戸建混在
- ・ 独居高齢者の孤独死が問題化
- ・ 若い单身・ファミリーの移動が多い



機能統合型コミュニティの展開構想(研究フィールドのニーズ・資源をもとに)

